

いずみさの教育

NOW

問合先
学校教育課

「自分発見！毎日がもっと輝く」(My note)

市内の小・中学校では、令和5年10月から「My note（マイノート）」の取組を始めています。これは、子どもたちが自分自身と向き合い、未来を切り開く力を育むことを目的とした特別なノートで、現在、市内小・中学校に在籍の小学3年生、中学3年生までの児童生徒に配付されています。「マイノート」という名前には、「唯一無二の私のノート」という意味が込められており、子どもたち一人ひとりが、このノートを通じて自分を語ることができるようになるという願いが込められています。教育現場では今、「予測困難な時代」を生きる子どもたちに必要な力を育むことが重要な課題となっています。少子高齢化、ICTやAIの急速な発展、そして頻発する自然災害や感染症の脅威など、私たちの社会は常に変化し、未来の予測が難しい状況です。

求められており、「マイノート」は、まさにその力を育むためのツールとして作成されました。「マイノート」には、子どもたちに夢や目標に向かって「やりたい！」「ことに没頭してほしい」という願いも込められています。子どもたちには、自分が没頭できることを見つけ、それにとことん打ち込む経験をしてほしいと願っています。

「マイノート」は、自分のことについて綴り、自分を「見える化」して振り返ることで、未来を切り開く力をつけるためのアイテムです。具体的には、①自分の世界を広げて「やりたいこと」を見える化する、②自分のことを知る（意欲」「忍耐力」「思いやり」などの「非認知能力」を振り返り、生活リズムを記録する）、③目標を定めて実行する（PDCAサイクルを繰り返す）という3つの「見える化」を促します。



学校園紹介



クラスで団結「子どもフェスタ」 ～上之郷小学校～

上之郷小学校では、一学期に全学年が楽しめる遊びを児童自身が企画・運営する「子どもフェスタ」を行っています。低・中・高学年がそれぞれの学年に応じて楽しめるよう、3年生以上の各クラスで遊びの内容やルール、必要な準備物などについて話し合いを重ねながら計画を立てます。

フェスタの1週間前には、児童朝会で「子どもフェスタセレモニー」が開かれ、各クラスの代表児童が自分たちの企画する遊びについて紹介しました。3年生は「わくわくおもちゃ屋」、4年生は「上小万博 国あてパビリオン」、5年生は「ワードウルフ・伝言ゲーム」、6年生は「おぼけやしき」です。「みんなに喜んでもらおう」という共通の目標に向かって、協力しながら準備を進めています。



「子どもフェスタ」は、児童が主体となってアイデアを出し合い、仲間と協力しながらいきいきと取り組める活動です。クラスの団結力が高まり、全校児童が楽しみながら異学年交流を深めることができる取組の一つになっています。

1年生と6年生のパソコン交流 ～末広小学校～

1年生が6年生にパソコンのログインの方法を教わりました。1年生はローマ字入力ができないので、6年生とペアになって、一人ひとりログイン作業をしました。6年生が1年生のパソコン画面に向かい、最初のIDとパスワードを一緒に入力して、1年生はパソコンのクラスルーム（学年のページ）にアクセスできるようになりました。



その後、パソコンを使って6年生がひらがなの問題を出して1年生が答えるという勉強をしました。1年生は喜びながら6年生にお礼を言うと言われた6年生も嬉しそうにしていました。

また、1年生は6年生が作った校歌の歌詞が書かれたカードをもらい、一緒に校歌を歌いました。1年生は6年生に大切にされて心が温かくなり、6年生も自己有用感が上がって自信がついた様子でお互いにとって良い時間となりました。

このように末広小学校では、異学年の交流や1年生から6年生までの全ての学年が1つのチームになって活動するファミリー活動を行って、自尊感情の向上に取り組んでいます。

